

あすから文月、7月になります。

7月はもう夏という語感ですが、まだ日本列島では梅雨が続いています。今年は、いや今年も、気候の変調は各地で続き、東京の西郊では雹が降り、まるで雪景色になりました。皆様の地域ではいかがでしょうか。

7月は三学期制の学校では、期末考査、採点、成績つけと、多忙な日々が続きます。大学でも前期の終了時期になります。恒例の「夏休み経済教室」の受付も始まっています。

そんな多忙な日々、今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

【1】最新活動報告

6月の活動を報告します。

【2】イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【3】授業のヒント

【1】最新活動報告

6月は大阪と京都で部会が実施されました。その内容を報告します。

■大阪部会 (No. 39)を開催しました。

日時：2014年6月21日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

内容の概略：出席者11名。

(1)野間敏克先生(同志社大学)から最近の活動報告がありました。関連して篠原総一代表(同志社大学)から、部会で配布している資料は、事前に添付ファイルで送ってほしいとの要望がされました。

(2)山本雅康先生(奈良学園中高)から、三つの実践報告がありました。

①税理士も参加した特別授業で、中学3年生の生徒に、贈与税の申告書を作成してもらい、累進課税の考え方を議論したり、税の使い途を知る授業。

②日本証券業協会・東京証券取引所など「証券知識普及プロジェクト」が作成した『株式会社をつくろう！～ミスターXからの挑戦状～』を使った授業。

③おなじく「証券知識普及プロジェクト」で開発された教材『ケーザイへの3つのトビラ 経済探求の旅に出よう』の1回目「株式会社～ワールドレジャー

ランド再生計画」を使った授業。

いずれも、生徒たちが楽しみながら学べること、ワークシートに書き込み、それを発表するなど、表現学習も豊富に行えるなど、成果があったとの報告でした。それに対して、ゲームやワークを使う授業は導入としてはよいが、それをどう深めて、生徒に考えさせたり、知識として残していくのかが肝心だとの意見がありました。また、税の実感がない中学生に税のことを教えるのはかなり難しいという発言があり、討論がされました。

(3)丹松美代志先生（池田市教育委員会）から、日本教育新聞に掲載された「金融経済教育未実施3割」という記事が紹介されました。

(4)埴枝里子先生（府中東高校）が東京部会で報告した授業実践「社会の幸せを経済で考える～横軸から需給曲線を読む～」についての検討がされました。消費者余剰、生産者余剰を使って、市場のよさと規制の問題にまで進むことを目指した授業です。それに対して、川上敏和先生（同志社大学）から、余剰の話はあくまでも部分均衡であるから、それを「社会の幸せ」とするのは問題とのコメントがありました。篠原代表からも、部分均衡ではなく一般均衡の枠組みで、中高の生徒にわかりやすく「市場のよさ」を教えることは非常に難しく、経済教育ネットワークが始まってからずっと議論している課題であるとの発言がありました。

(5)最後に、野村総合研究所の学生小論文コンテストの案内、金融広報中央委員会のセミナーおよび小論文の案内がありました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka39report.pdf>

■京都部会（No. 25）を開催しました。

日時：2014年6月27日（金）19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

内容の概略：出席者8名

上畑直久先生（京都市総合教育センター）より

公民的分野での単元名「生産のしくみと金融」における

「働く人をめぐる問題」についての報告がありました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto025report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

■ 「夏休み経済教室」の募集が始まっています。

「先生のための夏休み経済教室」の募集が東京証券取引所のHPで始まっています。6月26日現在の受け付け状況は以下の通りです。まだ余裕がありますので、お知り合いの先生方にお声をおかけください。

場所	日程	申し込み数	会場
名古屋中学	8月4日	29名	ウインクあいち
同高校	8月5日	34名	同
大阪中学	8月7日	62名	国民会館
同高校	8月8日	61名	同
東京高校①	8月14日	138名	東証ホール
同 ②	8月15日	138名	同
東京中学①	8月18日	123名	東証ホール
同 ②	8月19日	97名	同

なお、申し込みは東京証券取引所の以下のHPよりおこなうことができます。

<http://www.tse.or.jp/learning/education/kyoin/natsu-keizai/index.html>

■ 東京部会 (No. 68) を開催します。

日時：2014年7月1日(火) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部(本館2階中2会議室)

内容、参加方法は下記のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo068flyer.pdf>

■ 大阪部会 (No. 40) を開催します。

日時：2014年9月20日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト(予定)

大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング17階(予定)

内容、参加方法は下記のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka40flyer.pdf>

■ 札幌部会 (No. 11) を開催します。

日時：2014年9月27日(土) 14時30分～17時00分

場所：キャリアバンク セミナールーム

札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55 5階(JR札幌駅紀伊国屋のビル)

内容、参加方法は下記のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo011flyer.pdf>

■京都部会 (No. 26)を開催します

日時：2014年10月3日(金)19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

内容、参加方法は下記のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto026flyer.pdf>

■関連団体からのお知らせ

(1) 野村総合研究所から

「NRI 学生小論文コンテスト」の募集が始まります。(2014/6/30-9/5)

夏休みの生徒の課題とリンクさせて活用されるなどはいかがでしょうか。

内容、参加方法の詳細は下記HPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/etc/NRIcontest2014.pdf>

(2) 金融広報中央委員会から

①「教員のための金融教育セミナー」(2014/8/1)が東京で開催されます。

内容、参加方法の詳細は下記のHPをご覧ください。

<http://www.shiruporuto.jp/event/2014/14semi/pdf/14seminar.pdf>

②「金融教育に関する実践報告・小論文コンクール」の作品を募集しています。

先生方の実践や論文をまとめるチャンスです。

内容、参加方法の詳細は下記HPをご覧ください。

<http://www.ron2014.jp/pdf/tc.pdf>

【 3 】授業のヒント

■コンビニで教材発見を

毎日お世話になっている先生もいるかもしれないコンビニエンスストア。

教材としてコンビニを取り上げる授業例も多くなっています。例えば、コンビニとスーパーを比較させる授業(小学校)コンビニの立地を考えさせる教材(中学校)、コンビニ経営のシミュレーション教材(高校)などがすでに思い浮かびます。

コンビニはとにかく生徒にとっては身近な場所です。生協のない大学ではコンビニを学内に入れているところもあります。そんなコンビニを教材に使わない手はありません。有名なPOSシステムをはじめとして、最近の事例でいえば、宅配、コーヒー、金融サービス、行政サービスの代行、アルバイトの時給など注目すると様々な切り口から教材化できそうな事例がでてきます。

普段、お客さんとして出入りしている時には変化はあまり感じません。そもそも短時間で便利だからコンビニを使うので、じっくり観察ということもないでしょう。実際に足をはこんで観察するもよし、企業のHPで新製品をチェックするもよし、コンビニから教材を発見することをすすめます。ただし、面白いから、新しいから取り上げるのもよいのですが、どの場面でもどのように使っていくか、視点を明確にしてとりあげていくことが必要であることは言うまでもないと思います。

暇ネタでは次のようなクイズをしてもよいかもしれません。

- (1) 多くのコンビニは右回りにお客を誘導しようとしているのでしょうか、それとも左回り？その理由は？
 - (2) レジの近くに置いてある人気商品は次のどれ？
 - ①アイスクリーム ②雑誌 ③ポケット菓子（チロルチョコやブラックサンダーなど）
 - ④お弁当
- 解答は次回にします。（新井）

【 4 】編集後記（みみずのたはこと）

OECD が調べた世界の中学校の先生の調査の結果が、先日発表になりました。日本の中学校の先生は世界一働いている。でも自信がない。なんだか「ブラック企業、日本の学校」という感じです。私は、現在中高一貫校にいます。そこから見えるのは中学生の大変さです。入試で選抜された生徒でも中学生は中学生。一般の公立中学はもっと大変だと推察されます。だからこの結果は当然だろうなと思いました。

研修に関しても必要は認めるけれど、参加する時間がないという事情も浮かび上がります。一挙にこの現状を変えることはできないでしょうが、先生方に役立つような情報や研修を提供していかなければいけない、という思いを強くしました。（新井）

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆